

伊那谷・経済動向

中小企業景気レポート



アルプス中央信用金庫

ALSHIN
BANK<https://www.shinkin.co.jp/alshin/>

主要指標		今期	前年同期	前年同期比
有効求人倍率 (伊那公共職業安定所管内)		2024/8 1.30 倍	2023/8 1.29 倍	前年同月比 0.01 倍
自動車新規登録台数 (松本自動車検査 登録事務所管内)	新車	6,301 台	6,349 台	-0.76 %
	中古車	2,102 台	2,044 台	2.84 %
	合計	8,403 台	8,393 台	0.12 %
住宅新設着工数 (戸建、共同住宅を含む) (伊那市、駒ヶ根市、上伊那郡)		6~8月 276 件	6~8月 274 件	0.73 %
駒ヶ岳ロープウェイ乗車客数		96,238 人	107,356 人	-10.36 %
中央道利用台数 (伊北インター分)	入	294,098 台	294,399 台	-0.10 %
	出	269,904 台	279,112 台	-3.30 %
中央道利用台数 (伊那インター分)	入	288,384 台	313,141 台	-7.91 %
	出	289,906 台	319,135 台	-9.16 %
中央道利用台数 (小黒川スマートインター分)	入	157,226 台	150,048 台	4.78 %
	出	155,911 台	148,474 台	5.01 %
中央道利用台数 (駒ヶ根インター分)	入	262,045 台	269,929 台	-2.92 %
	出	270,963 台	277,426 台	-2.33 %
中央道利用台数 (駒ヶ岳スマートインター分)	入	77,799 台	73,050 台	6.50 %
	出	66,969 台	72,035 台	-7.03 %
中央道利用台数 (松川インター分)	入	178,013 台	191,759 台	-7.17 %
	出	172,749 台	183,271 台	-5.74 %

前期 4 - 6月 今期 7 - 9月 来期 10 - 12月 1 - 3月の四半期毎集計

※このレポートは、当金庫のお取引先185社に対し、2024年7月～9月期の景気の現状と2024年10～12月期の見通しを調査したものです。

地区内の景況観

◇**今期の業況**：今期の上伊那地区内の業況を総合的に見ると、良かったとする企業は**15.4%**（前期**16.1%**）、悪かったとする企業は**36.7%**（前期**40.2%**）であった。業種別に見ると、良かったとする企業の割合が最も多かったのは**不動産業**で**33.3%**（前期**50.0%**）、続いて**建設業**が**20.5%**（前期**23.1%**）、**製造業**が**17.5%**（前期**14.7%**）、の順となった。また、悪かったとする企業の割合が多かった業種は**製造業**で**50.8%**（前期**58.8%**）、続いて**小売業**が**48.4%**（前期**41.9%**）、**卸売業**が**37.5%**（前期**28.6%**）の順であった。

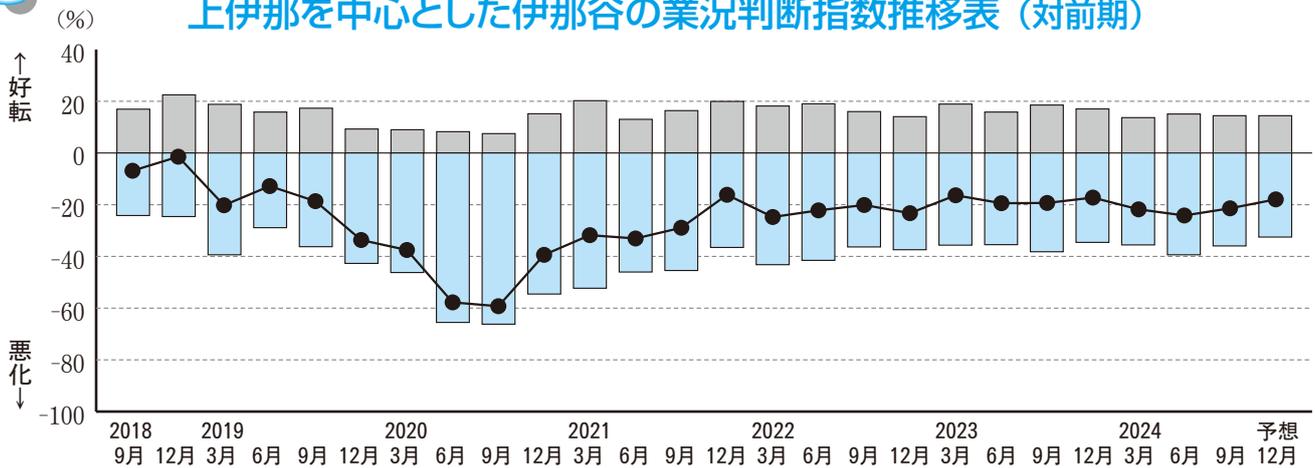
DIを総合的に見ると**▲21.3**（前期**▲24.1**）とプラス**2.8**ポイントでやや悪化傾向は弱まった状況。

業種別にDIを見ると、**不動産業**は**33.3**（前期**25.0**）とプラス**8.3**ポイントで好感感が増し、**建設業**においても**7.7**（前期**7.7**）と変わらず好調感を維持している。他の業種ではすべてマイナス領域となったが、**小売業**においては**▲41.9**（前期**▲25.8**）と**▲16.1**ポイント、**卸売業**が**▲37.5**（前期**▲28.6**）で**▲8.9**ポイントとそれぞれ低調感を強める結果となった。

◇**来期の見通し**：来期の業況予想を総合的に見ると、良いと予想する企業は**15.4%**（今期**15.4%**）、悪いと予想する企業は**33.1%**（今期**36.7%**）、DIは**▲17.8**（今期**▲21.3**）と**3.5**ポイントの上昇で悪いと予想する企業は減少している。

業種別のDIを見ると、**建設業**が**10.3**（今期**7.7**）で更に上向き基調の見通し。**卸売業**は**0.0**（今期**▲37.5**）と復調の予想。**小売業**は**▲19.4**（今期**▲41.9**）とプラス**22.5**ポイントで水面下のままではあるが改善基調となった。**製造業**では**▲33.3**（今期**▲33.3**）と水面下のまま業況は変わらない予想、**サービス業**は**▲27.3**（今期**▲18.2**）と**▲9.1**ポイントで低調感を強める予想となった。

上伊那を中心とした伊那谷の業況判断指数推移表（対前期）



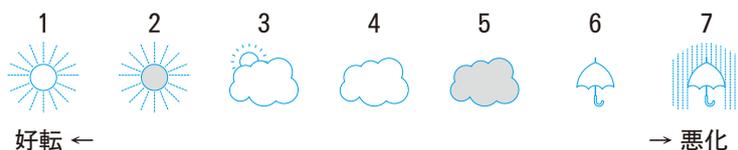
※棒グラフは業況判断指数、折れ線グラフはDIを表しています。

※DIとは、増加（好転）企業割合から減少（悪化）企業割合を差し引いた数値で、どちらの力が強いかで業況を判断しています。

なお、「仕入価格」については下降割合から上昇割合を、「販売価格」については上昇割合から下降割合をそれぞれ差し引いた数値で判断しています。

業種別天気図

業種	時期	2024年	2024年	2024年	2024年
		1～3月期	4～6月期	7～9月期	10～12月期予想
総合		☁	☁	☁	☁
製造業		☔	☔	☔	☔
建設業		☁	☁	☁	☁
卸売業		☁	☁	☔	☁
小売業		☁	☁	☔	☁
サービス業		☁	☁	☁	☁
不動産業		☀	☁	☀	☁



製造業 (調査先企業70社 うち回答企業63社)

◇**今期の業況**：今期の業況は、良かったとする企業は17.5%（前期14.7%）、悪かったとする企業は50.8%（前期58.8%）、DIは▲33.3（前期▲44.1）とプラス10.8ポイントで改善傾向となった。

各指標別を前期比で見ると、売上額のDIは▲9.5（前期▲20.6）とプラス11.1ポイント、収益のDIは▲15.9（前期▲19.1）とプラス3.2ポイントでいずれも減少幅は縮小している。また、受注残のDIにおいては▲22.2（前期▲11.8）で▲10.4ポイントで減少幅は拡大している。価格面では、販売価格のDIは6.3（前期2.9）とプラス3.4ポイントで上昇と答えた企業の割合は増加、原材料価格のDIでは▲39.7（前期▲48.5）でプラス8.8ポイントと上昇は弱まった。資金繰りのDIは、▲21.0（前期▲19.4）と▲1.6ポイントでやや窮屈さは増している。借入れをした企業は25.4%（前期29.9%）、設備投資の実施をした企業は38.5%（前期50.6%）であった。

前年同期比で見ると、売上額のDIは▲20.6（前年同期▲29.7）とプラス9.1ポイント、収益のDIも▲36.5（前年同期▲43.8）とプラス7.3ポイントでいずれも回復の兆しが出てきている。

◇**来期の見通し**：来期の見通しについて、業況のDIは▲33.3（今期▲33.3）と悪化幅は変わらず停滞する予想をしている。

各指標別を今期と比べてみると、売上額のDIは▲4.8（今期▲9.5）とプラス4.7ポイント、収益のDIにおいても▲11.1（今期▲15.9）とプラス4.8ポイント、また、受注残のDIにおいても▲3.2（今期▲22.2）とプラス19.0ポイントでいずれも減少幅が縮小してきている。価格面では、原材料価格のDIは▲41.3（今期▲39.7）と▲1.6ポイントで上昇傾向はやや強まり、販売価格のDIにおいても11.1（今期6.3）とプラス4.8ポイントで上昇傾向は強まる予想である。資金繰りのDIでは▲16.1（今期▲21.0）とプラス4.9ポイントで窮屈感は弱まる見通しである。借入れを予定している企業は19.7%（今期実施25.4%）、設備投資の実施を予定している企業は43.8%（今期実施38.5%）となっている。

◆DI指数推移

	2023年		2024年		予 想	
	7~9月	10~12月	1~3月	4~6月	7~9月	10~12月
業 況	▲46.9	▲33.8	▲44.6	▲44.1	▲33.3	▲33.3
売 上 額	▲29.7	▲16.9	▲42.4	▲20.6	▲9.5	▲4.8
受 注 残	▲28.1	▲15.4	▲25.8	▲11.8	▲22.2	▲3.2
収 益	▲35.9	▲21.5	▲28.8	▲19.1	▲15.9	▲11.1
販 売 価 格	6.3	15.4	7.6	2.9	6.3	11.1
原 材 料 価 格	▲45.3	▲47.7	▲31.8	▲48.5	▲39.7	▲41.3
原 材 料 在 庫	14.1	16.9	18.2	17.6	17.5	12.7
資 金 繰 り	▲15.9	▲18.8	▲13.6	▲19.4	▲21.0	▲16.1

◆借入金の動き・難易度(有効回答に占める割合)

	2023年		2024年		予 想		
	7~9月	10~12月	1~3月	4~6月	7~9月	10~12月	
借 入 実 施	した	25.0	27.7	22.7	29.9	25.4	19.7
	しない	75.0	72.3	77.3	70.1	74.6	80.3
借 入 難 易 度	容 易	4.7	13.8	7.6	10.4	6.5	—
	不 変	73.4	66.2	72.7	70.1	69.4	—
	難	7.8	9.2	6.1	9.0	11.3	—
	該当なし	14.1	10.8	13.6	10.5	12.8	—

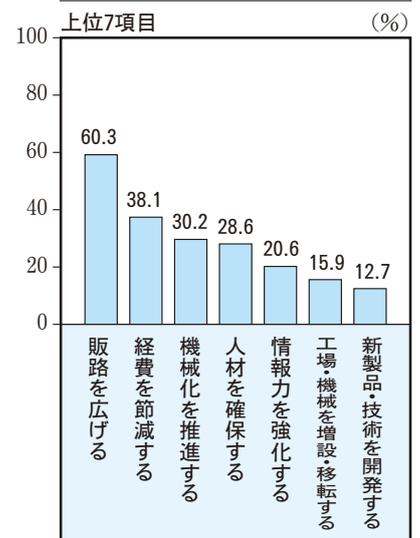
◆設備投資の動き(有効回答に占める割合)

	2023年		2024年		予 想		
	7~9月	10~12月	1~3月	4~6月	7~9月	10~12月	
実 施	した	48.6	46.3	39.7	50.6	38.5	43.8
	しない	51.4	53.7	60.3	49.4	61.5	56.2
状 況	過 剰	12.5	13.8	10.6	11.8	6.3	6.3
	適 正	78.1	77.0	81.8	79.4	81.0	82.6
	不 足	9.4	9.2	7.6	8.8	12.7	11.1
DI	3.1	4.6	3.0	3.0	▲6.4	▲4.8	

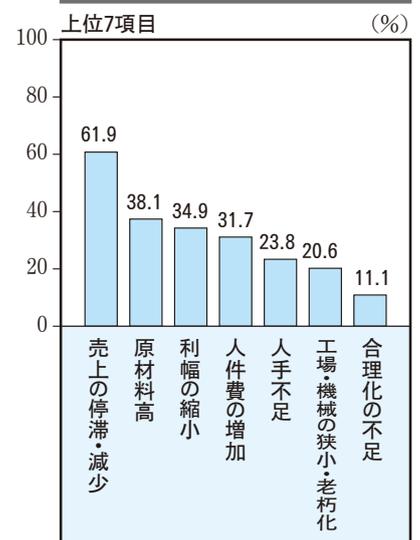
◆雇用面の動き(有効回答に占める割合)

	2023年		2024年		予 想		
	7~9月	10~12月	1~3月	4~6月	7~9月	10~12月	
残 業 時 間	増 加	14.1	16.9	12.1	12.1	13.1	8.2
	不 変	54.6	52.3	57.6	51.5	54.1	65.6
	減 少	31.3	30.8	30.3	36.4	32.8	26.2
人 手	過 剰	21.9	20.0	30.3	27.9	22.2	19.0
	適 正	51.5	56.9	54.5	51.5	55.6	55.6
	不 足	26.6	23.1	15.2	20.6	22.2	25.4

重点経営施策(複数回答)



経営上の問題点(複数回答)



景況調査レポート

建設業 (調査先企業42社 うち回答企業39社)

◇**今期の業況**：今期の業況は、良かったとする企業は**20.5%**（前期**23.1%**）、悪かったとする企業は**12.8%**（前期**15.4%**）で、DIは**7.7**（前期**7.7**）と前期と変わらず堅調に推移している。

各指標別を前期比で見ると、**売上額**のDIは**0.0**（前期**▲10.3**）と回復、また、**受注残**のDIにおいては**7.7**（前期**▲20.5**）とプラス**28.2**ポイントでプラス転換となった。**収益**のDIでは**▲15.4**（前期**▲28.2**）とプラス**12.8**ポイント、**施工高**のDIにおいても**▲7.7**（前期**▲17.9**）とプラス**10.2**ポイントといずれも改善傾向にある。価格面では、**請負価格**のDIは**▲5.1**（前期**0.0**）と**▲5.1**ポイントでやや下降、**材料価格**のDIは**▲59.0**（前期**▲66.7**）とプラス**7.7**ポイントで上昇したとする企業の割合は減少した。**資金繰り**のDIは**▲12.8**（前期**▲10.3**）と**▲2.5**ポイントで窮屈感が更に強まった。**借入れ**をした企業は**30.8%**（前期**30.8%**）、**設備投資の実施**をした企業は**38.1%**（前期**41.5%**）となっている。

前年同期比で見ると、**売上額**のDIは**▲23.1**（前年同期**4.9**）と**▲28.0**ポイントで増加から減少に転じ、**収益**のDIにおいても**▲33.3**（前年同期**▲12.2**）と**▲21.1**ポイントで減少を強めている。

◇**来期の見通し**：来期の見通しについては、**業況**のDIは**10.3**（今期**7.7**）とプラス**2.6**ポイントで、好感が強まる予想をしている。

各指標別を今期と比べて見ると、**売上額**のDIは**10.3**（今期**0.0**）とプラス**10.3**ポイントで好感が出る予想、**収益**のDIにおいても**0.0**（今期**▲15.4**）と改善される予想であるものの、**受注残**のDIにおいては**2.6**（今期**7.7**）と**▲5.1**ポイントで減少予想となった。価格面では、**請負価格**のDIは**▲10.3**（今期**▲5.1**）と**▲5.2**ポイントで下降傾向となり、**材料価格**のDIにおいても**▲56.4**（今期**▲59.0**）とプラス**2.6**ポイントでやや上昇傾向は和らぐ見通しである。**資金繰り**のDIにおいては**▲7.7**（今期**▲12.8**）とプラス**5.1**ポイントで窮屈感は和らぐ見通しである。**借入れ**を予定している企業は**31.6%**（今期実施**30.8%**）、**設備投資の実施**を予定している企業は**41.9%**（今期実施**38.1%**）となっている。

※「売上高=完成工事高」、「施工高=出来高」、「請負価格=受注額」

◆DI指数推移

	2023年		2024年		予想	
	7~9月	10~12月	1~3月	4~6月	7~9月	10~12月
業況	0.0	5.3	2.6	7.7	7.7	10.3
売上額	▲4.9	▲2.6	▲2.6	▲10.3	0.0	10.3
受注残	4.9	21.1	▲17.9	▲20.5	7.7	2.6
収益	▲22.0	▲5.3	▲2.6	▲28.2	▲15.4	0.0
請負価格	9.8	15.8	15.4	0.0	▲5.1	▲10.3
材料価格	▲75.6	▲71.1	▲56.4	▲66.7	▲59.0	▲56.4
在庫	▲2.4	▲5.3	2.6	0.0	0.0	0.0
資金繰り	▲4.9	▲10.5	▲2.6	▲10.3	▲12.8	▲7.7

◆借入金の動き・難易度(有効回答に占める割合)

	2023年		2024年		予想		
	7~9月	10~12月	1~3月	4~6月	7~9月	10~12月	
借入実施	した	27.5	35.1	28.9	30.8	30.8	31.6
	しない	72.5	64.9	71.1	69.2	69.2	68.4
借入難易度	容易	5.1	10.8	7.9	5.1	12.8	-
	不変	71.8	67.6	65.8	69.2	69.2	-
	難	5.1	5.4	5.3	5.1	2.6	-
	該当なし	18.0	16.2	21.0	20.6	15.4	-

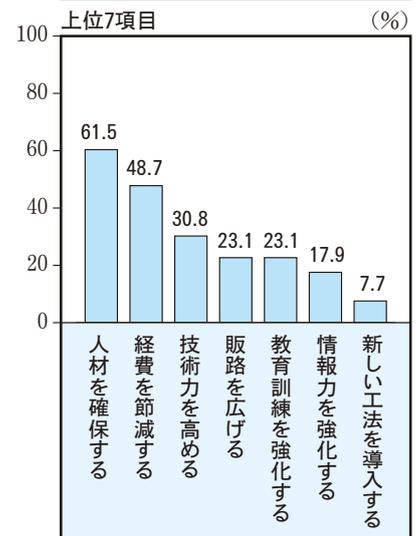
◆設備投資の動き(有効回答に占める割合)

	2023年		2024年		予想		
	7~9月	10~12月	1~3月	4~6月	7~9月	10~12月	
実施	した	39.0	46.3	46.5	41.5	38.1	41.9
	しない	61.0	53.7	53.5	58.5	61.9	58.1
状況	過剰	2.4	0.0	5.1	2.6	0.0	0.0
	適正	97.6	94.7	92.3	89.7	89.7	92.3
	不足	0.0	5.3	2.6	7.7	10.3	7.7
DI	2.4	▲5.3	2.5	▲5.1	▲10.3	▲7.7	

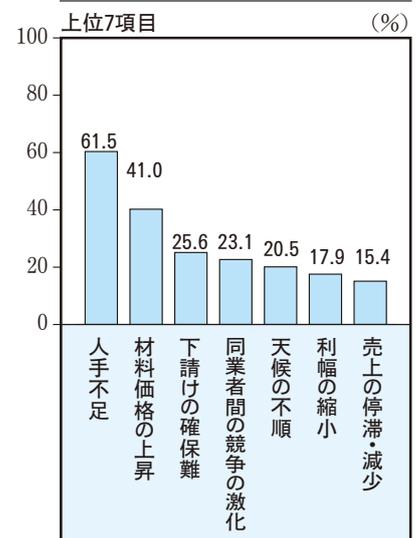
◆雇用面の動き(有効回答に占める割合)

	2023年		2024年		予想		
	7~9月	10~12月	1~3月	4~6月	7~9月	10~12月	
残業時間	増加	5.0	15.8	2.6	12.8	0.0	7.7
	不変	87.5	73.7	79.0	59.0	79.5	84.6
	減少	7.5	10.5	18.4	28.2	20.5	7.7
人手	過剰	2.4	0.0	0.0	2.6	5.1	7.3
	適正	39.1	39.5	53.8	38.4	38.5	31.7
	不足	58.5	60.5	46.2	59.0	56.4	61.0

重点経営施策(複数回答)



経営上の問題点(複数回答)



卸 売 業 (調査先企業8社 うち回答企業8社)

◇今期の業況：今期の業況は、良かったとする企業は0.0%（前期0.0%）、悪かったとする企業は37.5%（前期28.6%）となり、DIも▲37.5（前期▲28.6）と▲8.9ポイントで低調感を強めた。

各指標別を前期比で見ると、売上額のDIは0.0（前期0.0）と変わらなかったが、収益のDIは0.0（前期▲28.6）で回復基調となっている。販売価格のDIは62.5（前期57.1）とプラス5.4ポイントで好調を維持したが、仕入価格のDIについても▲62.5（前期▲57.1）と▲5.4ポイントで上昇傾向は強まっている。資金繰りのDIにおいては0.0（前期▲28.6）と窮屈感は無くなっている。借入れをした企業は25.0%（前期28.6%）、設備投資の実施をした企業は25.0%（前期37.5%）となっている。

前年同期比で見ると、売上額のDIは12.5（前年同期▲14.3）とプラス26.8ポイントで増加に転じ、収益のDIにおいては0.0（前年同期▲28.6）と回復基調となっている。

◇来期の見通し：来期の見通しについては、業況のDIは0.0（今期▲37.5）とプラス37.5ポイントで回復する予想をしている。

各指標別を今期と比べて見ると、売上額のDIは37.5（今期0.0）でプラス37.5ポイントと増加基調に振れ、収益のDIにおいても50.0（今期0.0）とプラス50.0ポイントで好調感が出てくる予想。価格面をみると、販売価格のDIは62.5（今期62.5）で上昇傾向を維持する見通しであるが、仕入価格のDIにおいては▲75.0（今期▲62.5）と上昇が強まる予想である。資金繰りのDIにおいては0.0（今期0.0）で変わらず安定推移の予想である。借入れを予定している企業は12.5%（今期実施25.0%）、設備投資の実施を予定している企業は12.5%（今期実施25.0%）となっている。

◆DI指数推移

	2023年		2024年		予 想	
	7~9月	10~12月	1~3月	4~6月	7~9月	10~12月
業 況	▲14.3	▲12.5	▲28.6	▲28.6	▲37.5	0.0
売 上 額	▲42.9	25.0	▲71.4	0.0	0.0	37.5
収 益	▲57.1	37.5	▲57.1	▲28.6	0.0	50.0
販 売 価 格	28.6	37.5	28.6	57.1	62.5	62.5
仕 入 価 格	▲71.4	▲75.0	▲42.9	▲57.1	▲62.5	▲75.0
在 庫	▲14.3	0.0	0.0	0.0	▲12.5	▲12.5
資 金 繰 り	0.0	12.5	14.3	▲28.6	0.0	0.0

◆借入金の動き・難易度(有効回答に占める割合)

	2023年		2024年		予 想		
	7~9月	10~12月	1~3月	4~6月	7~9月	10~12月	
借 入 実 施	し た	14.3	25.0	28.6	28.6	25.0	12.5
	し ない	85.7	75.0	71.4	71.4	75.0	87.5
借 入 難 易 度	容 易	14.3	12.5	0.0	0.0	0.0	—
	不 変	71.4	62.5	71.4	85.7	75.0	—
	難	0.0	0.0	0.0	0.0	12.5	—
	該 当 なし	14.3	25.0	28.6	14.3	12.5	—

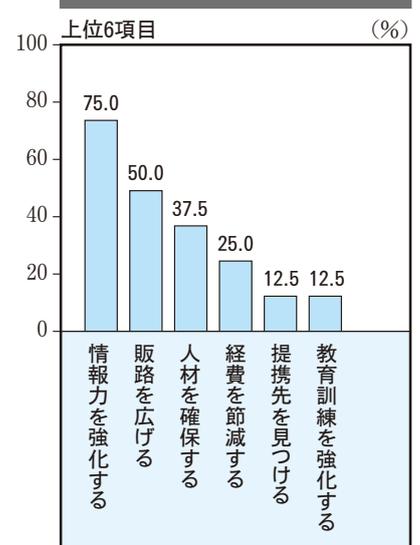
◆設備投資の動き(有効回答に占める割合)

	2023年		2024年		予 想		
	7~9月	10~12月	1~3月	4~6月	7~9月	10~12月	
実 施	し た	25.0	33.3	0.0	37.5	25.0	12.5
	し ない	75.0	66.7	100.0	62.5	75.0	87.5
状 況	過 剰	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	適 正	85.7	87.5	100.0	85.7	100.0	100.0
	不 足	14.3	12.5	0.0	14.3	0.0	0.0
DI	▲14.3	▲12.5	0.0	▲14.3	0.0	0.0	

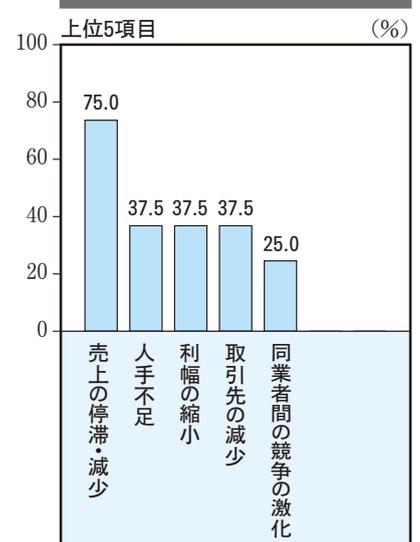
◆雇用面の動き(有効回答に占める割合)

	2023年		2024年		予 想		
	7~9月	10~12月	1~3月	4~6月	7~9月	10~12月	
残 業 時 間	増 加	0.0	12.5	0.0	0.0	0.0	0.0
	不 変	71.4	75.0	85.7	85.7	87.5	100.0
	減 少	28.6	12.5	14.3	14.3	12.5	0.0
人 手	過 剰	0.0	0.0	14.3	14.3	0.0	0.0
	適 正	71.4	87.5	85.7	71.4	75.0	75.0
	不 足	28.6	12.5	0.0	14.3	25.0	25.0

重点経営施策(複数回答)



経営上の問題点(複数回答)



景況調査レポート

小 売 業 (調査先企業35社 うち回答企業31社)

◇**今期の業況**：今期の業況は、良かったとする企業は**6.5%**（前期**16.1%**）、悪かったとする企業は**48.4%**（前期**41.9%**）、DIは**▲41.9**（前期**▲25.8**）と**▲16.1**ポイントで低調感を強めた。

各指標別を前期比で見ると、売上額のDIは**▲6.5**（前期**▲22.6**）とプラス**16.1**ポイント、収益のDIも**▲12.9**（前期**▲35.5**）とプラス**22.6**ポイントでいずれも減少が一服している。価格面では、販売価格のDIは**38.7**（前期**51.6**）と**▲12.9**ポイントで上昇幅は縮小、仕入価格のDIにおいては**▲45.2**（前期**▲64.5**）とプラス**19.3**ポイントで仕入価格の上昇幅も縮小した。また、資金繰りのDIは**▲19.4**（前期**▲12.9**）と**▲6.5**ポイントで窮屈感は強まった。借入れをした企業は**22.6%**（前期**16.1%**）、設備投資の実施をした企業は**25.0%**（前期**14.8%**）となっている。

これを前年同期と比較すると、売上額のDIは**16.1**（前年同期**34.4**）と**▲18.3**ポイントで増加幅が縮小、収益のDIは**▲3.2**（前年同期**6.3**）と**▲9.5**ポイントで増加から減少に転じている。

◇**来期の見通し**：来期の見通しについて、業況のDIは**▲19.4**（今期**▲41.9**）とプラス**22.5**ポイントで厳しさが和らぐ予想をしている。

各指標別を今期と比べてみると、売上額のDIは**3.2**（今期**▲6.5**）で、収益のDIにおいても**0.0**（今期**▲12.9**）とマイナス領域から脱出予想である。販売価格のDIは**41.9**（今期**38.7**）とプラス**3.2**ポイントで上昇は更に強まる予想、仕入価格のDIは**▲45.2**（今期**▲45.2**）と上昇幅は変わらない予想である。資金繰りのDIは**▲32.3**（今期**▲19.4**）と**▲12.9**ポイントで窮屈感が強まる予想となった。借入れを予定している企業は**20.0%**（今期実施**22.6%**）、設備投資の実施を予定している企業は**22.2%**（今期実施**25.0%**）となっている。

◆DI指数推移

	2023年		2024年			予 想
	7~9月	10~12月	1~3月	4~6月	7~9月	10~12月
業 況	▲18.8	▲3.2	▲12.9	▲25.8	▲41.9	▲19.4
売 上 額	9.4	35.5	3.2	▲22.6	▲6.5	3.2
収 益	▲15.6	19.4	▲12.9	▲35.5	▲12.9	0.0
販 売 価 格	65.6	58.1	45.2	51.6	38.7	41.9
仕 入 価 格	▲87.5	▲74.2	▲51.6	▲64.5	▲45.2	▲45.2
在 庫	9.4	25.8	6.5	9.7	6.5	6.5
資 金 繰 り	▲18.8	▲16.1	▲9.7	▲12.9	▲19.4	▲32.3

◆借入金の動き・難易度(有効回答に占める割合)

	2023年		2024年			予 想	
	7~9月	10~12月	1~3月	4~6月	7~9月	10~12月	
借 入 実 施	した	18.8	22.6	23.3	16.1	22.6	20.0
	しない	81.2	77.4	76.7	83.9	77.4	80.0
借 入 難 易 度	容 易	16.1	16.7	6.7	16.7	20.0	—
	不 変	51.6	53.3	63.3	66.7	60.0	—
	難	9.7	10.0	13.3	6.7	13.3	—
	該当なし	22.6	20.0	16.7	9.9	6.7	—

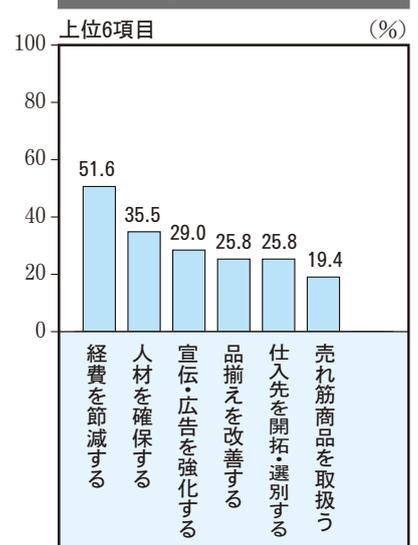
◆設備投資の動き(有効回答に占める割合)

	2023年		2024年			予 想	
	7~9月	10~12月	1~3月	4~6月	7~9月	10~12月	
実 施	した	21.4	22.2	17.4	14.8	25.0	22.2
	しない	78.6	77.8	82.6	85.2	75.0	77.8
状 況	過 剰	9.4	6.5	9.7	3.2	3.2	3.3
	適 正	65.6	83.8	83.8	77.4	77.4	80.0
	不 足	25.0	9.7	6.5	19.4	19.4	16.7
DI	▲15.6	▲3.2	3.2	▲16.2	▲16.2	▲13.4	

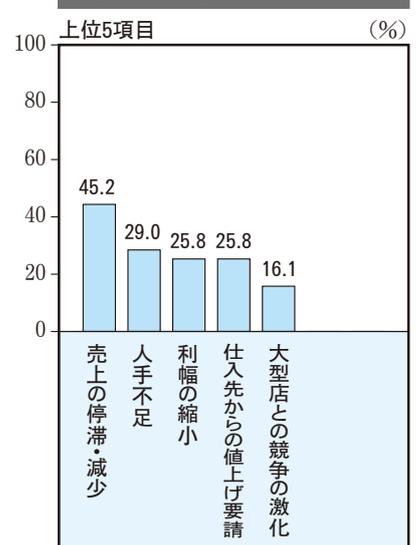
◆雇用面の動き(有効回答に占める割合)

	2023年		2024年			予 想	
	7~9月	10~12月	1~3月	4~6月	7~9月	10~12月	
残 業 時 間	増 加	22.6	20.0	6.7	10.3	13.8	13.8
	不 変	77.4	76.7	83.3	86.3	72.4	69.0
	減 少	0.0	3.3	10.0	3.4	13.8	17.2
人 手	過 剰	6.5	3.3	6.7	0.0	10.0	6.7
	適 正	51.6	63.4	50.0	66.7	53.3	46.6
	不 足	41.9	33.3	43.3	33.3	36.7	46.7

重点経営施策 (複数回答)



経営上の問題点 (複数回答)



サービス業 (調査先企業24社 うち回答企業22社)

◇今期の業況：今期の業況は、良かったとする企業は13.6%（前期8.0%）、悪かったとする企業は31.8%（前期32.0%）、DIは▲18.2（前期▲24.0）とプラス5.8ポイントで改善傾向となった。

各指標別を前期比で見ると、売上額のDIは9.1（前期8.0）とプラス1.1ポイントで堅調に推移したが、収益のDIにおいては▲9.1（前期4.0）と▲13.1ポイントで悪化に転じている。料金価格のDIは22.7（前期32.0）と▲9.3ポイントで上昇が弱まり、仕入価格のDIでも▲59.1（前期▲72.0）とプラス12.9ポイントで上昇が弱まっている。資金繰りのDIは▲18.2（前期▲20.0）とプラス1.8ポイントで窮屈感はやや緩和している。借入れをした企業は4.8%（前期16.0%）、設備投資の実施をした企業は36.0%（前期30.8%）となっている。

前年同期との比較では、売上額のDIは22.7（前年同期30.4）と▲7.7ポイントで好調感は後退、収益のDIでは0.0（前年同期13.0）と▲13.0ポイントで好調感は無くなっている。

◇来期の見通し：来期の見通しについて、業況のDIは▲27.3（今期▲18.2）と▲9.1ポイントで低調感を強める予想となった。

各指標別を今期と比べて見ると、売上額のDIは▲27.3（今期9.1）と▲36.4ポイントで増加から減少、収益のDIにおいても▲40.9（今期▲9.1）と▲31.8ポイントで減少を強める見通しである。仕入価格のDIは▲45.5（今期▲59.1）とプラス13.6ポイントで価格上昇は弱まる予想、料金価格のDIも18.2（今期22.7）と▲4.5ポイントで上昇は弱まる見通しである。資金繰りのDIは▲13.6（今期▲18.2）とプラス4.6ポイントで窮屈感は弱まる予想となった。借入れを予定している企業は18.2%（今期実施4.8%）、設備投資の実施を予定している企業は22.7%（今期実施36.0%）となっている。

◆DI指数推移

	2023年		2024年			予 想
	7~9月	10~12月	1~3月	4~6月	7~9月	10~12月
業 況	13.0	▲26.1	▲21.7	▲24.0	▲18.2	▲27.3
売 上 額	26.1	▲17.4	▲34.8	8.0	9.1	▲27.3
収 益	17.4	▲21.7	▲34.8	4.0	▲9.1	▲40.9
料 金 価 格	26.1	4.3	0.0	32.0	22.7	18.2
材 料 価 格	▲78.3	▲56.5	▲65.2	▲72.0	▲59.1	▲45.5
資 金 繰 り	▲17.4	▲17.4	▲21.7	▲20.0	▲18.2	▲13.6

◆借入金の動き・難易度(有効回答に占める割合)

	2023年		2024年			予 想	
	7~9月	10~12月	1~3月	4~6月	7~9月	10~12月	
借 入 実 施	し た	17.4	13.0	26.1	16.0	4.8	18.2
	し ない	82.6	87.0	73.9	84.0	95.2	81.8
借 入 難 易 度	容 易	17.4	8.7	8.7	13.0	9.1	—
	不 変	52.2	52.2	65.2	60.9	54.5	—
	難	17.4	17.4	13.0	17.4	13.6	—
	該 当 なし	13.0	21.7	13.1	8.7	22.8	—

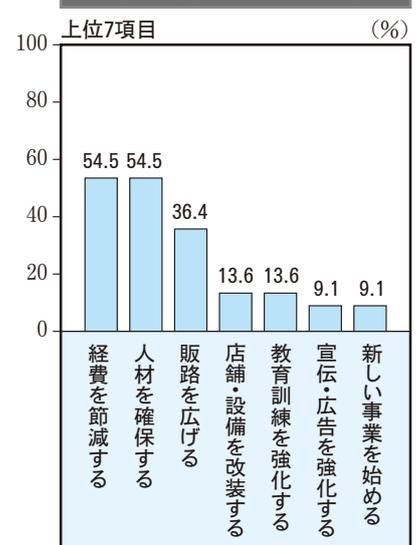
◆設備投資の動き(有効回答に占める割合)

	2023年		2024年			予 想	
	7~9月	10~12月	1~3月	4~6月	7~9月	10~12月	
実 施	し た	40.0	32.0	26.9	30.8	36.0	22.7
	し ない	60.0	68.0	73.1	69.2	64.0	77.3
状 況	過 剰	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	適 正	56.5	69.6	60.9	72.0	81.8	90.9
	不 足	43.5	30.4	39.1	28.0	18.2	9.1
DI	▲43.5	▲30.4	▲39.1	▲28.0	▲18.2	▲9.1	

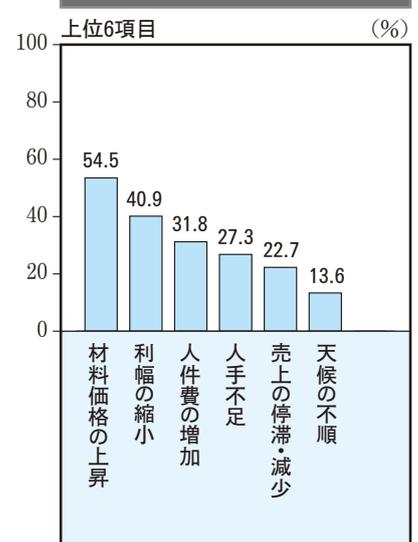
◆雇用面の動き(有効回答に占める割合)

	2023年		2024年			予 想	
	7~9月	10~12月	1~3月	4~6月	7~9月	10~12月	
残 業 時 間	増 加	26.1	8.7	13.0	4.2	9.5	9.5
	不 変	73.9	82.6	74.0	91.6	85.7	85.7
	減 少	0.0	8.7	13.0	4.2	4.8	4.8
人 手	過 剰	0.0	0.0	4.3	0.0	0.0	0.0
	適 正	34.8	47.8	52.2	44.0	63.6	59.1
	不 足	65.2	52.2	43.5	56.0	36.4	40.9

重点経営施策(複数回答)



経営上の問題点(複数回答)



不動産業

(調査先企業6社 うち回答企業6社)

◇**今期の業況**:今期の業況は、良かったとする企業は**33.3%**(前期**50.0%**)、悪かったとする企業は**0.0%**(前期**25.0%**)で、DIは**33.3**(前期**25.0**)とプラス**8.3**ポイントで好調感が強まった。

各指標別を前期比で見ると、売上額のDIは**0.0**(前期**▲20.0**)とプラス**20.0**ポイント、収益のDIも**0.0**(前期**▲20.0**)とプラス**20.0**ポイントでいずれも回復している。価格面においては、販売価格のDIは**33.3**(前期**20.0**)とプラス**13.3**ポイントで上昇傾向は強まったが、仕入価格のDIも**▲16.7**(前期**▲40.0**)とプラス**23.3**ポイントで仕入価格の上昇においても弱まっている。資金繰りのDIは、**▲16.7**(前期**▲20.0**)とプラス**3.3**ポイントで窮屈感が緩和された。借入れをした企業は**66.7%**(前期**60.0%**)となっている。

前年同期比で見ると、売上額のDIは**16.7**(前年同期**20.0**)と**▲3.3**ポイントと増加基調が一服、収益のDIにおいては**33.3**(前年同期**20.0**)とプラス**13.3**ポイントで好感が増した。

◇**来期の見通し**:来期の見通しについては、業況のDIは**▲16.7**(今期**33.3**)とマイナスに転じる見込み。

各指標別を今期と比べて見ると、売上額のDIは**16.7**(今期**0.0**)とプラス**16.7**ポイントで増加に振れる予想、収益のDIにおいては**0.0**(今期**0.0**)で今期と変わらない予想である。販売価格のDIは**33.3**(今期**33.3**)と上昇傾向は変わらず継続見込、仕入価格のDIにおいても**▲16.7**(今期**▲16.7**)で上昇傾向は変わらない見通しである。資金繰りのDIについては**▲16.7**(今期**▲16.7**)と窮屈感は継続する見通し。借入れを予定している企業は**66.7%**(今期実施**66.7%**)となっている。

◆DI指数推移

(%)

	2023年		2024年			予 想
	7~9月	10~12月	1~3月	4~6月	7~9月	10~12月
業 況	20.0	▲20.0	33.3	25.0	33.3	▲16.7
売 上 額	0.0	40.0	33.3	▲20.0	0.0	16.7
収 益	20.0	20.0	16.7	▲20.0	0.0	0.0
販 売 価 格	80.0	60.0	33.3	20.0	33.3	33.3
仕 入 価 格	▲80.0	▲60.0	▲50.0	▲40.0	▲16.7	▲16.7
在 庫	▲60.0	▲80.0	▲50.0	▲40.0	▲33.3	▲16.7
資 金 繰 り	0.0	0.0	0.0	▲20.0	▲16.7	▲16.7

◆借入金の動き・難易度(有効回答に占める割合)

(%)

	2023年		2024年			予 想	
	7~9月	10~12月	1~3月	4~6月	7~9月	10~12月	
借 入 実 施	した	60.0	60.0	50.0	60.0	66.7	66.7
	しない	40.0	40.0	50.0	40.0	33.3	33.3
借 入 難 易 度	容 易	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	—
	不 変	100.0	60.0	100.0	100.0	83.3	—
	難	0.0	20.0	0.0	0.0	0.0	—
	該当なし	0.0	20.0	0.0	0.0	16.7	—

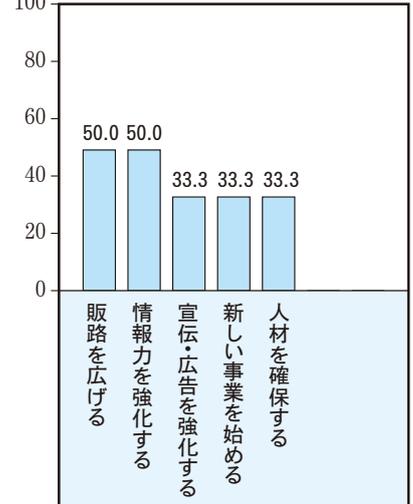
◆雇用面の動き(有効回答に占める割合)

(%)

	2023年		2024年			予 想	
	7~9月	10~12月	1~3月	4~6月	7~9月	10~12月	
残 業 間	増 加	0.0	0.0	16.7	20.0	16.7	0.0
	不 変	100.0	100.0	83.3	80.0	66.6	100.0
	減 少	0.0	0.0	0.0	0.0	16.7	0.0
人 手	過 剰	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	適 正	80.0	80.0	83.3	80.0	66.7	66.7
	不 足	20.0	20.0	16.7	20.0	33.3	33.3

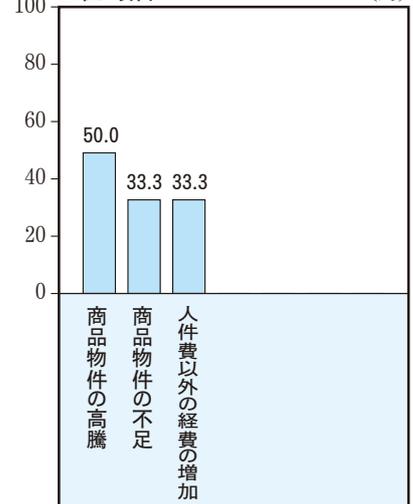
重点経営施策(複数回答)

上位5項目 (%)



経営上の問題点(複数回答)

上位3項目 (%)



特別調査 中小企業におけるデジタル化とキャッシュレスへの対応について

問 1 貴社では、事実上の情報収集・情報発信等において、パソコンやスマートフォン等でインターネットを利用していますか。また、同様に事業上で電子メールを利用していますか。あてはまるものをお答えください。

インターネットの利用について、総合的に見ると、最も多かった回答は「利用しており、自社ホームページも開設」で**66.9%**、続いて「利用しているが、自社ホームページは未開設」で**21.7%**、次に「利用することはないが、今後利用したい」が**7.8%**、「利用していないが、今後利用したい」が**3.6%**の順となった。また、業種別に見てもすべての業種で「利用しており、自社ホームページも開設」の回答が過半数を占めた。

電子メールの利用について、総合的に見ると、最も多かった回答は「利用している」で**87.1%**、続いて「利用することはないが、今後利用したい」で**8.6%**、次に「利用していないが、今後利用したい」が**4.3%**の順となった。また、業種別に見ても同様、すべての業種で「利用している」が大半を占める結果であった。(%)

	総合	製造業	建設業	卸売業	小売業	サービス業	不動産業
インターネットの利用	1. 利用しており、自社ホームページも開設	66.9	72.6	74.4	50.0	50.0	100.0
	2. 利用しているが、自社ホームページは未開設	21.7	22.6	15.4	50.0	26.7	0.0
	3. 利用していないが、今後利用したい	3.6	1.6	5.1	0.0	3.3	0.0
	4. 利用することはない	7.8	3.2	5.1	0.0	20.0	0.0
電子メールの利用	5. 利用している	87.1	93.4	89.7	87.5	72.4	100.0
	6. 利用していないが、今後利用したい	4.3	3.3	5.1	0.0	3.4	0.0
	7. 利用することはない	8.6	3.3	5.1	12.5	24.1	0.0

問 2 貴社では、インターネットバンキングを契約していますか。契約している方は、契約している主な理由または状況をお答えください。契約していない方は、契約していない主な理由をお答えください。

総合的に見ると、『契約している』との回答は全体の**80.5%**、『契約していない』が**19.5%**であった。

『契約している』主な理由は、「金融機関の店舗に行く必要がない」が最も多く**34.1%**、続いて「残高管理が容易である」が**22.7%**、「夜間や休日でも利用できる」が**19.7%**、「社内全体のIT化・事務負担軽減」が**18.9%**、「契約しているがほぼ使っていない」が**4.5%**の順となった。

『契約していない』主な理由は、「利用する機会がない」が最も多く**37.5%**、続いて「金融機関職員が訪問するから不要」が**31.3%**、「セキュリティに不安がある」が**25.0%**、「パスワード管理等操作が面倒」が**6.3%**の順となった。また、「インターネット利用環境がない」の理由は無かった。

業種別に見ると、『契約している』割合が最も多い業種は製造業で**93.5%**、その理由は「金融機関の店舗に行く必要がない」が最も多く**36.2%**であった。また、『契約していない』割合が最も多い業種は小売業で**36.7%**、その理由は「利用する機会がない」が最も多く**63.6%**であった。(%)

	総合	製造業	建設業	卸売業	小売業	サービス業	不動産業
契約している	1. 夜間や休日でも利用できる	19.7	17.2	6.9	20.0	15.8	40.0
	2. 社内全体のIT化・事務負担軽減	18.9	27.6	10.3	0.0	21.1	20.0
	3. 残高管理が容易である	22.7	19.0	37.9	60.0	21.1	20.0
	4. 金融機関の店舗に行く必要がない	34.1	36.2	41.4	20.0	31.6	20.0
	5. 契約しているがほぼ使っていない	4.5	0.0	3.4	0.0	10.5	0.0
契約していない	6. 金融機関職員が訪問するから不要	31.3	50.0	40.0	0.0	18.2	100.0
	7. パスワード管理等操作が面倒	6.3	0.0	20.0	0.0	0.0	0.0
	8. セキュリティに不安がある	25.0	0.0	20.0	100.0	18.2	0.0
	9. 利用する機会がない	37.5	50.0	20.0	0.0	63.6	0.0
	10. インターネット利用環境がない	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

問 3 7月に実施された新紙幣の発行に伴い、貴社では何らかの対応(設備投資など)を実施しましたか。また、新紙幣導入を機にキャッシュレス支払手段の導入または強化をしましたか。

『新紙幣の発行への対応』について、総合的に見ると、最も多かった回答は「対応の必要性を感じていない」で**85.5%**、続いて「対応の必要性を感じているが、まだ対応していない」で**7.8%**、次に「対応した」が**6.6%**の順となった。また、どの業種を見ても「対応の必要性を感じていない」の回答が過半数を占めた。

『キャッシュレス支払手段の導入』について、総合的に見ると、最も多かった回答は「導入していない」で**61.8%**、続いて「既に導入済みで強化はしていない」で**33.9%**、次に「既に導入済みでさらに強化した」が**4.2%**の順となり、「新たに導入した」の回答は無かった。また、業種別に見ると、「導入していない」が最も多かった業種は、建設業が**76.9%**、製造業が**75.0%**、不動産業が**66.7%**、卸売業が**62.5%**であった。「既に導入済みで強化はしていない」が最も多かった業種は、小売業が**63.3%**、サービス業が**50.0%**であった。

(%)

		総合	製造業	建設業	卸売業	小売業	サービス業	不動産業
新紙幣発行に伴う対応	1. 対応した	6.6	4.8	5.1	0.0	10.0	13.6	0.0
	2. 対応の必要性を感じているが、まだ対応していない	7.8	4.8	2.6	14.3	3.3	22.7	33.3
	3. 対応の必要性を感じていない	85.5	90.3	92.3	85.7	86.7	63.6	66.7
キャッシュレス支払手段	4. 既に導入済みでさらに強化した	4.2	5.0	0.0	0.0	6.7	9.1	0.0
	5. 既に導入済みで強化はしていない	33.9	20.0	23.1	37.5	63.3	50.0	33.3
	6. 新たに導入した	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	7. 導入していない	61.8	75.0	76.9	62.5	30.0	40.9	66.7

問4 貴社では、取引先や顧客との決済にあたって、現在、どのようなキャッシュレス支払手段を 活用していますか主に活用しているキャッシュレス支払手段をお答えください。

総合的に見ると、「クレジットカード」の回答が最も多く**29.1%**、次に「口座振替（自動引落）サービス」が**28.3%**、「活用していない・関係ない」**16.0%**、「電子記録債権（でんさい等）」**13.5%**、「QRコード決済」**8.6%**の順となった。

業種別に見ると、「クレジットカード」の回答が最も多かった業種は、小売業が**52.0%**、サービス業が**39.4%**、「口座振替（自動引落）サービス」の回答が最も多かった業種は、卸売業が**55.6%**、建設業が**38.5%**、製造業が**38.3%**であった。また、不動産業では「活用していない・関係ない」が**50.0%**で最も多い回答であった。(%)

【複数回答】	総合	製造業	建設業	卸売業	小売業	サービス業	不動産業
1. クレジットカード	29.1	22.3	17.3	0.0	52.0	39.4	33.3
2. デビットカード	1.2	0.0	0.0	0.0	4.0	3.0	0.0
3. QRコード決済	8.6	2.1	0.0	0.0	20.0	27.3	0.0
4. 電子マネー（交通系・流通系）	1.6	1.1	0.0	0.0	6.0	0.0	0.0
5. プリペイドカード	1.2	0.0	0.0	0.0	2.0	6.1	0.0
6. デジタル通貨（地域電子通貨・暗号資産）	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
7. 口座振替（自動引落）サービス	28.3	38.3	38.5	55.6	10.0	6.1	16.7
8. 電子記録債権（でんさい等）	13.5	26.6	11.5	22.2	0.0	0.0	0.0
9. その他	0.4	0.0	0.0	0.0	2.0	0.0	0.0
10. 活用していない・関係ない	16.0	9.6	32.7	22.2	4.0	18.2	50.0

問5 問4の1～9で挙げたキャッシュレス支払手段について、導入している方は感じている不 満を、導入していない方は導入していない理由をお答えください。

総合的に見ると、「手数料が高い」が**24.1%**で最も多く、次に「不満などはない」で**21.9%**、続いて「セキュリティが不安」が**12.1%**、「災害や障害時に利用不能になる」**11.2%**、「キャッシュレスに対応していない取引先がある」**8.5%**の順となった。

業種別に見ると、「手数料が高い」が最も多かった業種は、サービス業が**38.2%**、小売業が**37.3%**であった。「セキュリティが不安」が最も多かった業種は卸売業で**33.3%**、「不満などはない」が多かった業種は建設業が**30.4%**、製造業が**28.0%**であった。また、不動産業では「手数料が高い」と「不満などはない」が同率**33.3%**で多い回答であった。(%)

	総合	製造業	建設業	卸売業	小売業	サービス業	不動産業
1. 初期費用が高い	2.2	2.7	0.0	0.0	0.0	8.8	0.0
2. 手数料が高い	24.1	18.7	8.7	16.7	37.3	38.2	33.3
3. セキュリティが不安	12.1	16.0	10.9	33.3	5.9	8.8	0.0
4. 決済手段が多すぎて何を使うべきかわからない	7.1	4.0	8.7	8.3	11.8	5.9	0.0
5. キャッシュレスに対応していない取引先がある	8.5	12.0	6.5	8.3	3.9	8.8	16.7
6. 災害や障害時に利用不能になる	11.2	8.0	17.4	8.3	15.7	5.9	0.0
7. 現金化までに時間がかかる	6.3	6.7	4.3	0.0	9.8	5.9	0.0
8. 個人情報などのデータ管理が煩雑	3.6	1.3	8.7	0.0	3.9	0.0	16.7
9. わかる人がいない	3.1	2.7	4.3	8.3	0.0	5.9	0.0
10. 不満などはない	21.9	28.0	30.4	16.7	11.8	11.8	33.3

フリーローンのご案内

2023年5月1日現在

詳しくは、営業店窓口または担当者までお問い合わせ下さい。

<https://www.shinkin.co.jp/alshin/> 「あるしん」

お申込みカンタン！
スピード回答！

**快速！なんでも
応援団**

個人事業主
のお客様
個人
のお客様

最大
ご融資額 **500万円**

**フリーローン
アドバンテージ**

専業主婦・パート・アルバイト
の方もOK！ご融資金額/上限30万円

ご融資利率
年 **3.8%~14.5%**

1,000万円
までお借入可能

事業性資金も
500万円までOK!